

技術は人に役立ってこそ もっと身近に介護ロボットを

湘南ロボケアセンター（藤沢市）

最近、介護・医療分野で注目を集めている介護ロボットですが、「どんなことができるのか」「安全性はどうか」など、いまだ分からないことも多く、導入をためらう声も聞かれます。

そこで、介護ロボットの活用方法を広く関係者等に公開し、導入の検討を支援することで開発支援・普及促進を図ろうと、県保健福祉局では「介護ロボット普及推

進センター」事業を進めています。この取り組みの一環として、昨年末にオープンしたのが、介護ロボットの研究開発・普及啓発拠点「湘南ロボケアセンター」（以下、「センター」）です。

国内最大規模の施設として注目を集めるセンターの特色は、CYBERDYNE(株)（茨城県つくば市）が研究開発・製造・販売する「ロボットスーツHAL®」を使う



①②日の光がたっぷりと射し込む、見晴らしの良いトレーニングフロア
③④ロボットを使ったトレーニングは、1回90分程度。一人ひとりに合わせたメニューを提供
⑤お話を伺った久野さん

◆湘南ロボケアセンター

藤沢市辻堂神台2-2-1 アイクロス湘南4階
☎0466-30-2360 FAX0466-30-2361
URL <http://www.robocare.jp/shonan/>
ロボットスーツの装着体験ができる個人向けコースや、団体見学ツアーの申し込みを随時受け付けています。お気軽にご相談ください（事前申込制・有料）

たフィットネス事業として、身体機能改善トレーニングを体験できることです。【写真】

センターのある藤沢市では、4月から身体障害者手帳1〜3級（下肢または体幹機能障害）受給者を対象に、トレーニング費用の助成を開始。センターでも、介護保険による訪問介護事業、デイサービス事業をスタートしました。

「自分の意思で動くことをあきらめない、『パリア0』『重介護0』の社会を目指し、日常生活に最先端の技術を溶け込ませていきたい」と、湘南ロボケアセンター(株)代表取締役社長の久野孝稔さん。

今後センターでは、腕などに簡単に装着でき、コンパクトで持ち運び自由な「単関節型HAL」や、介護者による持ち上げ動作を補助し、腰痛を予防する「作業支援用HAL」などのロボットを増やしていく予定です。

「医療・福祉関係者の皆さんをはじめ、関心のある方たちに実際に触れてもらい、それぞれのニーズに応じた介護ロボットを提案できる体制をつくりたい」と、今後に向けた意気込みを語ります。

（企画調整・情報提供担当）

消防用設備等の確実な点検を！

消防法では、一定の防火対象物の関係者に消防用設備等の点検報告を義務づけています。



適正な点検の結果、機能が正常な場合、左の点検済証を貼付させましょう。

（一財）神奈川県消防設備安全協会

〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター4階408号
TEL 045-201-1908 FAX 045-212-0971

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています